

## 1. 5 合流式下水道 改善

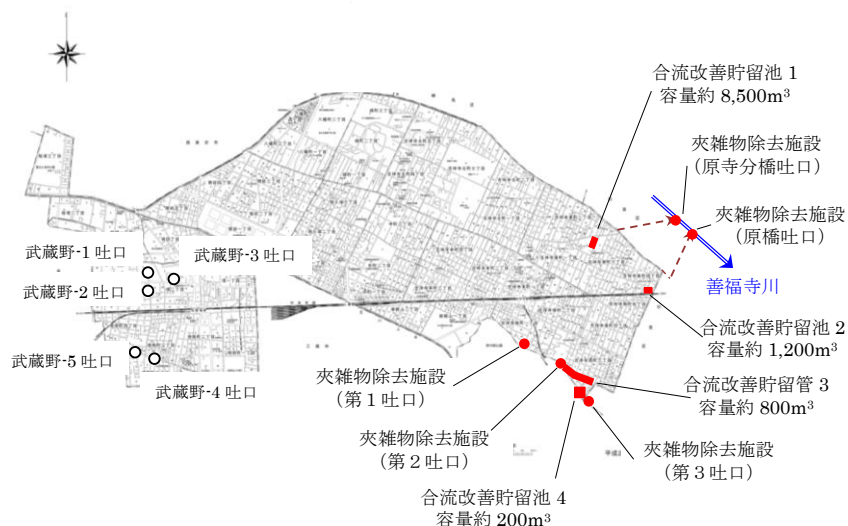
### (1) 合流式下水道 改善の現状

本市の大半で採用している合流式下水道は、汚水と雨水の排除を同時に進められる反面、雨天時に大量の雨水が流れ込むと、施設的能力を超えた下水が未処理のまま善福寺川や神田川等へ放流されてしまう。また、油やゴミ等の浮遊物も同様に流出するため、本市の下流域に対して、景観の悪化や公衆衛生上の観点での悪影響を与えていた。

国は合流式下水道の改善に本格的に取り組むため、下水道法施行令の改定を行った。これを受けて、本市では平成16年度に「合流式下水道改善計画」を策定し、浸透施設の設置、雨水吐へのきょう雑物除去施設の設置、合流改善貯留施設の設置等の法令で求められる整備水準を平成25年までに達成している。

また、平成27年度には改善目標の達成状況を確認し、事業成果を市民に対しよりわかりやすく示すことを目的とした「合流式下水道緊急改善事業事後評価委員会」を開催し、有識者により事業内容を評価した。

#### 【参考】武蔵野市の合流改善施設の整備状況



合流式下水道改善対策施設配置図（貯留施設・きょう雑物除去施設）

### ■合流改善貯留施設【第一処理区】

合流改善貯留池 1	容量 約 8,500m <sup>3</sup>
合流改善貯留池 2	容量 約 1,200m <sup>3</sup>
合流改善貯留管 3	容量 約 800m <sup>3</sup>
合流改善貯留池 4	容量 約 200m <sup>3</sup>

### ■雨水吐き施設へのきょう雑物除去施設設置【第一、第二処理区】

きょう雑物除去施設（吐け口箇所数：10）	10 箇所
----------------------	-------

### ■雨水浸透施設の設置

施設名	【第一処理区内】	【第二処理区内】	合計
浸透ます	18,551 基	8,739 基	27,290 基
浸透トレンチ	31,018m	14,487m	45,505m
浸透側溝	2,253m	514m	2,767m
浸透舗装	100,183 m <sup>2</sup>	41,981 m <sup>2</sup>	142,164 m <sup>2</sup>
雨水貯留施設	2,253 m <sup>3</sup>	今後設置予定	2,253 m <sup>3</sup>

### ■放流水質の調査

	H17（基準値）	H26	H27	H28
BOD（mg/ℓ）	35.6	15.5	20.0	21.9

## （2）今後の課題

### 1）雨水浸透の強化

下流域への負担を軽減させるため、引き続き公有地に雨水浸透・貯留施設を設置し、また民有地における雨水浸透施設等の設置に対する助成を進める必要がある。

### 2）合流改善施設の適切な運用、維持管理

既に設置した合流改善施設の適切な運用、維持管理を行う必要がある。

### 3）合流式下水道改善対策の効果の把握

合流改善対策の効果を把握し、事業の適切な評価を行うため雨天時に河川へ放流される下水のモニタリング調査を継続する必要がある。